

科目名称：	テーマパーク論	
担当者名：	若月 博延	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
日本人海外旅行者数をゆうに超える年間3000万人を集めるディズニーランド。ハリーポッターで活況を浴びるユニバーサルスタジオジャパン。世界の中でもテーマパーク好きの日本。そして成功と失敗が分りやすいのがテーマパークです。成功するテーマパークとはどのようなものか。また、失敗したテーマパークはなぜ失敗したのか。これらを概観することにより、テーマパーク事業を理解します。		
授業の達成目標・到達目標		
テーマパーク事業を学ぶことにより、集客のための施設、サービスコンセプト、人材教育等、サービスマネジメントについて理解します。グループワークにより、理想のテーマパークを作り上げ、事業計画のプレゼンを行えるようにします。		

ビジネス実務学科		ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。		
DP(2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。		
DP(3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。		○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)	0	0	40	60	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
チームでの話し合いについて	意見の少ない人にも発言を求めて、積極的に場を盛り上げた	自らは発言し、場を盛り上げる手助けをした	話し合いに参加し、相応の意思表示はできた	話し合いにいないだけ、もしくは不参加
自分の考え方を発言出来たか	積極的に自分の意見を発表し、話し合いをリードした	話し合いにおいて発言者の意見にたいし、自分の意見の表明は行った	他人の意見に賛成や反対の表明はできた	極的な参加にとどまった
グループでの意見取りまとめについて	グループの結論を出すのに積極的にリードした	グループの結論を出すのにサポートした	グループの結論を出すのに意見が言えた	関わらなかった
プレゼン作成について	自らリードして作成した	作成を積極的にサポートした	作成に多少関わった	関わらなかった

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 テーマパークことはじめ	北陸の遊園地・テーマパークについて調べてくる	30分
第2回 テーマパークの歴史	好きなテーマパークの詳細について情報を収集しレポートにまとめる	30分
第3回 ディズニーランド；歴史、コンセプト	ディズニー復習シート「歴史」編の作成	30分
第4回 ディズニーランド；施設編	ディズニー復習シート「施設」編の作成	30分
第5回 ディズニーランド；サービス編	ディズニー復習シート「サービス」編の作成	30分
第6回 ディズニーランド；従業員教育	ディズニー復習シート「従業員教育」編の作成	30分
第7回 ディズニーランド；課題と将来	ディズニー復習シート「課題」編の作成	30分
第8回 石川県にテーマパークを作るなら（グループワークで新規テーマパークを考える）	ディズニー復習シートの見直し	30分
第9回 プレゼンテーション	グループでプレゼンを作成する	90分
第10回 U S J ；歴史、コンセプト	USJに関する情報を収集しレポートにまとめる	30分
第11回 U S J ；マーケティング戦略	マーケティングについての基礎知識シートをまとめる	30分
第12回 テーマパークゲリラ；澤田秀雄の経営	HISに関する情報を収集しレポートにまとめる	30分
第13回 テーマパーク失敗学	閉園したテーマパークについて情報を収集しレポートにまとめる	30分
第14回 理想のテーマパーク（グループワークで新規テーマパークを考える）	世界の成功しているテーマパークについて情報収集	30分
第15回 プレゼンテーション	グループでプレゼンを作成する	90分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
成績評価の方法・基準
定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。 復習シートを40%、グループワークのアクティビティを40%、プレゼンテーションを20%で評価する。
課題に対してのフィードバック
復習シートへのコメント、プレゼンテーションをルーブリックで返却
教科書・参考書
授業の都度レジュメを配付する。参考文献はその都度指示する。